

## 2020 年度受賞者の受賞コメント

この度は久能賞という意義深い賞を賜り、誠にありがとうございます。自分が触れている学問領域での根強いジェンダーギャップを痛感する日々において、このように女性による自分の学究を奨励する賞を頂き、大変励まされると共に身の引き締まる思いです。寄附者である久能悠子様にご心より感謝申し上げます。

私の将来の目標は、国境と貧富の差を超えて広く行き届く、安価で精密な医療の実現に寄与することです。私には、貧しさや病識の欠如から幼少期に適切な処置を受けなかった疾患が高じ、生涯病苦と共にある親族がいます。そのやるせなさを目の当たりにしてきた経験からも、新たな治療法の解明は勿論、貧困や保健医療アクセスの悪さにより、本来なら対処できるはずの疾患で人生の可能性を狭められる人がいない未来を切に志向しています。その実現のボトルネックである、資金・人的資源、とりわけ一部途上国でのインフラ整備の不足を踏まえた医学的アプローチを模索する中、オミックス研究に惹かれるに至りました。

オミックスは、検体等から抽出される多様な生体情報、そして人類の叡智の結集たる膨大なデータベースを統合的に扱う研究領域です。統計学や機械学習技術を駆使して高次元データに隠れた生命現象を読み解き、ひいては新たな予防・診断・治療法の確立を目指して、基礎領域と臨床医学の相互的還元を体現する学問です。先進医療的側面が有名ではありますが、低コスト・低リソースの医療介入確立に関しても大きな可能性を秘めていると私は考えます。具体的には、オミックス解析によるバイオマーカーや治療ターゲットの解明を通して、高度医療施設がなくとも疾病の早期発見を可能にする簡易診断法、安価な予防法や治療法の確立に資することが目標です。また発症リスクの高い集団を可視化するモデルや、個人々人における薬効の投与前推定モデル等を構築することで、リソース投入の最適化を図り、途上国そして医師不足や医療費増大問題を抱える先進国を含めた世界の医療水準の向上・保険制度の拡充に寄与していきたいと願っています。

今後の活動としては、現在通っている研究室にて、未知の病態機序や生体指標の追究、その方法論の学修と探究、学会等での発表や論文執筆といったアウトプットに引き続き励んでいきたいと思っております。翌年度からの病院実習では、実臨床の場で医療を学ばせて頂くと共に、基礎研究者と臨床家の連携を増進する道筋についてご教示を仰いでいきたいです。かねてより予定していた海外の研究機関への留学は、COVID-19の感染拡大状況によって実現の可否が定かではありませんが、状況が許せば国内の研究機関や行政・国際協力機関でのインターンシップ、国内外のオンラインでの学修と人的交流に努めていく所存です。

そしてまた、女性ジェンダーとして、男性ジェンダーとして、あるいはそれらに当てはまらないあらゆる性のあり方を生きる人全員が、平等かつ存分に学問に参画できる未来の形成に寄与するべく励んでいきたいと思っております。

医学部医学科 北田 せり